

<b>3類型</b>	農林水産物、鉱工業品	<b>通巻番号</b>	9-19-015
<b>地域資源名</b>	沖縄島野菜(ゴーヤー)、沖縄の塩 沖縄黒糖、琉球泡盛	<b>認定日</b>	平成20年3月12日
<b>地域</b>	沖縄県石垣市	<b>所管省庁</b>	農林水産省、経済産業省

## 事業名:長期保存可能な多用途型生野菜調味料「ゴーヤペースト」と「もろみ(カシジェー)のドレッシング」の開発

会社名:ゴーヤカンパニー有限公司

所在地:沖縄県石垣市字新川433

連絡先:TEL:0980-83-5814

H P : <http://www.58company.com/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

・「沖縄」の産地イメージが確立されているゴーヤの地域ブランド力を活かした活用しやすい生野菜調味料を開発する。また、全国で流通している「もろみ酢」の原料(もろみ)が有する栄養成分(もろみ酢に加工される際に除去されている)と琉球泡盛の認知性を活かした商品開発を行う。



地域資源(ゴーヤ)

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

・ゴーヤは生野菜の風味を残した調味料とすることで、汎用性及び活用しやすさが高まり差別化が図られ、また、健康イメージでも優位性がある。カシジェーは泡盛からできる副産物であり希少性が高く、沖縄ブランドとして差別性を有する。

#### ◆市場性

・本事業で開発する商品は、調味料、ドレッシング市場のニーズを勘案し開発を行うが、当該市場は既に大きな市場が形成されており、また昨今の食の安全・安心への関心の高まりにより100%自然原料を用いた商品に対するニーズが高まっていることから潜在的な需要は大きいものと判断している。

#### ◆販路

・ゴーヤペーストは、首都圏等の高級飲食店や高級食材購買層などへ販路拡大していく。一方カシジェードレッシングは観光客をターゲットとして販路拡大を図る。



ゴーヤペースト



ゴーヤペースト活用調理例

### 地域資源における関係事業者との連携

・品質・供給確保のために生産農家との連携を行うほか、市場ニーズの把握や販路拡大のため様々な専門家と連携していく。